

総会資料 2 活動報告詳細（新規気象ビジネス創出WG）

○今年度の活動方針

- 昨年度のマッチングイベントは、新たな参加者が少なく、また、ニーズ側企業数とシーズ側企業数のアンバランスにより企業間マッチングも低調であった。
- 令和2年度については、マッチングイベントは開催せず、ニーズ側企業からの参加者を増やす活動に力を入れる。

○主な活動

- WG会合
 - ✓ WEB開催3回（6/2、7/14、1/13）
- WXBCセミナー
 - ✓ 令和2年度第1回をオンライン開催（8/4）
 - ビジネスでのデータ活用の必要性についてと、具体的な需要予測での活用事例についての講演
 - 定員300名に対し約450名の申し込みがあり、常時200名前後が視聴
 - 満足度は、概ね好評をいただいた（満足、やや満足82%）
 - ✓ 令和2年度第2回をオンライン開催（12/4）
 - 多くの分野での事例を紹介するため、1つの講演の時間を短くし4題の講演
 - 第1回から定員を増加。約450名の申し込みがあり常時300名前後が視聴
 - 満足度は、概ね好評をいただいた（たいへん満足、満足85%）
 - WGの会合後に、WXBCセミナーの講師を招き自由に質問できる質問会を試行
- 他機関イベントとの連携
 - ✓ 気象災害・リスク対策サミット（東京ビッグサイト主催）、気候変動・災害対策Biz2020（日本経済新聞社主催）のイベントでの講演を企画
 - ✓ カード形式のDX関連の研修教材へ協力（気象データカードの文言提案）
- 気象データの利活用事例集の拡充
 - ✓ 1件追加（ジャパネットホールディングス）